

南会津を自転車で走ろう2019秋（東エリア）チェックポイント一覧

※自転車を入れ写真の場所を撮影しよう！中に自転車が入れない場所では、近くのそこが特定出来る場所であればOKです。

<p>南泉寺</p> 	<p>楼門は、寛政6年に御蔵入領の農民が寄付金を出し合って建てたものです。梵鐘は昭和55年に再鑄造されました。境内の枝垂桜も有名です。</p>	<p>龍福寺</p> 	<p>戊辰戦争で新政府軍が投宿し、「芸州式番隊」という逆さの文字が、本堂の襖に残っています。境内には見事な桜があります。</p>	<p>徳昌寺</p> 	<p>本堂と庫裡、金比羅堂は国選定有形文化財に指定されています。本堂裏の庭園は、自然の趣が深いことで知られています。</p>	<p>田出宇賀神社・熊野神社</p> 	<p>会津田島祇園祭は、田出宇賀神社および熊野神社の祭礼として、国指定重要無形民俗文化財に指定されています。</p>
<p>国権酒造</p> 	<p>創立明治10年。厳選した酒造用米と地元奥会津の清らかな水を仕込み水とし、米・水・麴・酵母をはじめ、すべてにこだわりをもって丁寧に仕込んでおります。</p>	<p>会津酒造</p> 	<p>創業約300年の歴史をもつ酒蔵です。水は山系の超軟水。糖類・酸味料などを無添加で、丸みのある米本来の旨味を活かした酒造りを行っています。</p>	<p>開当男山酒造</p> 	<p>創業享保元年。創始者の三代目渡部開当の名前が銘柄となっており、以来14代、寒冷地を生かした酒造りに取り組んでいる。</p>	<p>雷電神社 モミの大木</p> 	<p>福米沢地区、桧沢小学校横の杉並木の参道を進むと拝殿があり、その横に見事なモミの巨木があります。</p>
<p>熊野神社 男杉女杉</p> 	<p>藤生地区の熊野神社の境内奥にあります。男杉は樹幹の雄大さ、女杉は男杉に比べてしとやかに見えることから名付けられました。</p>	<p>道の駅たじま</p> 	<p>日光と会津若松を結ぶ国道121号沿い、南会津町の南玄関である山王峠の頂上付近にある道の駅です。</p>	<p>奥会津博物館</p> 	<p>国の重要有形民俗文化財指定の収蔵品が5,058点もあり、又数百年の間使用されてきた山村生産用具も収蔵され、当時の暮らしをリアルに知ることができます。</p>	<p>びわのかげ運動公園</p> 	<p>親子で楽しめる広場や、ソフトボール場、テニスコート、野球場、プール、多目的競技場等、幅広く活動できる施設が整っています。</p>
<p>恋路橋</p> 	<p>会津高原尾瀬口駅の斜め前に架かる恋路橋。「欄干に赤い紐を結ぶと恋が叶う」と言われていて、いくつもの紐が結ばれています。</p>	<p>高倉神社</p> 	<p>大内宿に唯一ある神社で高倉以仁王を祀っています。大内宿の鎮守となっています。境内にある大スギは樹齢800年、樹高56m、胸高周囲9.1mもあります。</p>	<p>中ノ沢観音堂</p> 	<p>御蔵入三十三観音の11番札所です。1960年(昭和35年)に国の重要文化財に指定されています。</p>	<p>八幡の大ケヤキ</p> 	<p>樹齢約1000年の大ケヤキです。樹形の良さは県内屈指で、豪壮雄大王者の風格がある見事なケヤキの巨樹です。</p>
<p>不動桂</p> 	<p>大松川集落の成田不動尊の「不動桂」、カツラの巨木です。</p>	<p>道の駅しもごう Ematto</p> 	<p>国道289号「甲子道路」にある道の駅です。「エマツト」とは下郷町の方言で「もつと」という意味を表しています。</p>	<p>高倉山湧水(長寿の水)</p> 	<p>下野街道(会津西街道)筋にあり、高倉山から湧き出る水を楽しむことができます。</p>	<p>養鱒公園</p> 	<p>ニジマスの養殖場を中心に、釣り堀、レストラン、ゴーカート、バーベキューなど、家族連れで1日楽しめるレジャースポットです。</p>
<p>大川ふるさと公園</p> 	<p>会津鉄道ふるさと公園駅からすぐの公園です。夏には下郷ふるさと祭りと會津YOSAKOI夏の陣が同時開催されます。</p>	<p>湯野上温泉駅</p> 	<p>日本でも珍しい茅葺き屋根の駅舎です。桜の名所として知られ、多くのカメラマンが訪れます。</p>	<p>観音沼森林公園</p> 	<p>沼の周囲には四季折々の美しさを楽しめる花木等が植栽され、季節ごとの表情をゆっくり散策しながら楽しむことができます。</p>	<p>下郷町物産館</p> 	<p>南会津の採れたて農産物を販売。地域の加工品や地酒、民芸品や工芸品などの品揃えも豊富。食事処は十割そば、会津地鶏カレー、マスバーガーなど。</p>